

(別添4)

【徳島県石井町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』において、児童生徒一人一人の資質・能力を伸ばすという観点から、新たな ICT 環境や先端技術を最大限活用することなどにより、基礎的・基本的な知識・技能や言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の確実な育成が行われるとともに、多様な児童生徒一人一人の興味・関心等に応じ、その意欲を高めやりたいことを深められる学びを提供する等の実現を目指すとされている。

これらの目標に向け、本町でも、GIGA第1期に掲げた目標の達成状況を踏まえ、「個別最適な学びと協働的な学び」を一体的に実現していくことを目指していく。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想を実現するため、令和2年度に「高速大容量の通信ネットワーク環境」と、「1人1台端末」を小中学校に整備し、指導者用タブレット端末の整備も行った。また、学習用Wi-Fiモバイルルータを導入し、持ち帰り学習ができるよう対応した。

ICT支援員については、4年度には、目標を超える7校に3名任用することができ、小中学校への訪問を行い、ICT機器の問題解決や授業への利活用方法についてのアドバイスをすることで、教職員や児童生徒のICT機器への理解と活用能力の向上に努めてきた。

このように、学校や家庭でICT機器を積極的に活用できる環境を整え、ICT機器を活用する頻度が増えてきたが、学校間での使用頻度の差などの課題が出てきた。

今後も、教育委員会とICT支援員が連携を密にし、学校への情報提供やさらなる支援を行うことで各学校の課題解決や、教職員のスキル向上を図り、児童生徒が安全・安心に学ぶことができるよう、ICTを活用した授業の改善に向けて進めていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期でのICT環境整備等により、1人1台端末は、児童生徒にとって日常的に必要な不可欠なツールとなった。令和7年度には1人1台端末を更新し、児童生徒の学びを止めない環境整備を進めていく。

また、学習履歴データやデジタル学習教材を活用した個別最適な学びと、各種アプリケーションを使った意見共有や比較検討などによる協働的な学びを推進することで、1人1台端末を活

用した主体的・対話的で深い学びを実践していく。

さらに、ICT支援員を継続し教職員の資質を高めるとともに、1人1台端末の更なる活用に繋げる。